

2021年12月9日

各位

合同会社 監査 D&I コンソーシアム

合同会社 監査 D&I コンソーシアム設立のお知らせ

仰星監査法人（以下 仰星）、RSM 清和監査法人（以下 RSM 清和）、監査法人アヴァンティア（以下アヴァンティア）、株式会社TOKAIコミュニケーションズ（以下 TOKAICOM）4社の共同出資により、今後の日本の証券マーケットを支える重要なプレイヤーである中小監査法人に対して、電子監査調書システム(※1)をセキュアに利用できる共通 IT インフラ環境を提供することを目的として、合同会社 監査 D&I コンソーシアム（通称：ADIC）が設立されたことをお知らせいたします。

1. 背景と目的

日本の証券市場は、上場企業の多くが中堅企業という特性があり、昨今、中小監査法人に対する期待とニーズはますます高まり、金融庁も中小監査法人育成の方針を掲げ、電子監査調書の導入等のデジタル化支援など、高品質な監査のため IT の活用推進を提言しています。

一方、中小監査法人は、目まぐるしい進歩を遂げる IT 環境の中で、DX 推進やサイバーセキュリティ対策などの課題に直面していますが、資本金・人的リソースの限られた中小監査法人が、単独投資によって対応することは困難となっています。

そこで、電子監査調書システムの導入を含む中小監査法人のデジタル化の強化と DX 推進に寄与するためのプラットフォームを提供することを目的として、ADIC は 2021 年 11 月 24 日付で、仰星、RSM 清和、アヴァンティア、TOKAICOM の 4 社の共同出資により設立されました。

2. 今後の事業展開

ADIC は「社会的使命を果たそうとしている中小監査法人のネットワークを構築し、共同利用できる高度かつ信頼性の高い IT 環境の提供と、ナレッジの共有を通じて、監査業界及び資本市場の発展に寄与すること」をミッションとして、事業を展開してまいります。

まずは日本の証券市場において地位向上が期待される中小監査法人に対して、電子監査調書システムをセキュアな環境で利用できる共通 IT インフラ環境の提供を主力サービスとして事業を開始します。

提供する共通 IT インフラについては、既に実施主体である 3 社において導入済みであり、500 名以上のユーザー規模で運用を行っているものです。

TOKAICOM は、クラウドを利用したインフラ構築・運用に実績があり、共通 IT インフラ活用の領域で ADIC のサービスを支えていきます。

また ADIC ではアヴァンティアが自社開発した電子監査調書システム「AQuA」のライセンス提供とカナダの CaseWare 社製の電子監査調書システム「CaseWare Working Papers」の導入支援アドバイ

スも実施します。

将来的には、中小監査法人の共同体としてのナレッジネットワークの構築や、電子監査調書システム以外の監査ツールを含む監査業務のDX化に寄与する事業を行ってまいります。

3. 会社概要

(1) 商号	合同会社監査 D&I コンソーシアム Audit Digital & Innovation Consortium
(2) 所在地	東京都千代田区四番町 6 東急番町ビル 11 階
(3) 代表者	代表社員 仰星監査法人 職務執行者 金子彰良
(4) 設立年月日	2021 年 11 月 24 日
(5) 資本金	20 百万円
(6) 出資者	仰星監査法人 RSM 清和監査法人 監査法人アヴァンティア 株式会社 TOKAI コミュニケーションズ
(7) 事業概要	<ul style="list-style-type: none">・ 監査事務所およびその他の企業が利用する IT インフラ・アプリケーションの販売・導入支援・運用保守・教育研修・ IT に係る情報プラットフォームの運営・ 会計または監査に利用可能な IT 技術に係る調査研究

※1 電子監査調書システム

監査法人が作成し整理保管する義務を負う監査調書を電子的に統合管理するシステム

以上